江越　正次朗

えごし　　しょうじろう

江越　正次朗 Shojiro Egoshi

健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻　講師
メールアドレス：egoshi@hcu.ac.jp

学歴・学位

医療福祉専門学校緑生館理学療法学科　卒業
人間総合科学大学人間科学部人間科学科　卒業
日本工学院専門学校医療専門課程臨床工学専攻科　卒業
佐賀大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻　修了　修士（医科学）
佐賀大学大学院医学系研究科博士課程医科学専攻　修了　博士（医学）

資格
認定理学療法士（呼吸）、臨床工学技士、3 学会合同呼吸療法認定士

主要職歴

平成 17 年 4 月～平成 20 年 3 月	医療法人大和正信会ふじおか病院
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	医療法人社団涓泉会山王リハビリ訪問看護ステーション
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	医療法人大和正信会ふじおか病院
平成 24 年 4 月～令和 2 年 8 月	医療福祉専門学校緑生館理学療法学科　専任教員
令和 2 年 9 月～令和 4 年 3 月	京都橘大学健康科学部理学療法学科　助教
令和 4 年 4 月～現在に至る	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科　講師

専門分野

呼吸リハビリテーション、心臓リハビリテーション

主な担当科目

内部障害理学療法治療学Ⅱ、内部障害理学療法治療学演習、理学療法評価学Ⅱ、理学療法評価学演習Ⅱ

研究テーマ

・慢性閉塞性肺疾患患者の自己管理能力における精神・心理的特性の研究
・慢性閉塞性肺疾患患者の身体活動性への影響因子に関する研究
・心疾患患者の高次生活機能に関する研究

ひとこと

慢性閉塞性肺疾患の方たちがより良い生活を送るために必要な治療方法について研究を行っています。
理学療法に関する知識・技術はもとより、学術的な面も学生の皆さんと伴に学んで行ければと考えています。

その他（所属学会・団体）

日本理学療法士協会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本ヘルスプロモーション理学療法学
日本心臓リハビリテーション学会、理学療法科学学会、NPO はがくれ呼吸ケアネット

研究活動（主要なもの）

学術論文

1. Egoshi S, Kandori T, Ueno M, Shinya M, Wakiji A, Ito R. Exercise Load Variation at Different Subjective Intensities of High-Intensity Interval Training Using Body Weight. Cureus, 2025, 17.
2. 江越正次朗，慢性閉塞性肺疾患患者の精神・心理と呼吸リハビリテーション．理学療法の臨床と研究，2024，34（1）．
3. 江越正次朗，阿波邦彦，堀江淳，金子秀雄，林真一郎．佐賀県、福岡県筑後地区における呼吸リハビリテーションの現状と呼吸器関連専門資格を有した療法士との関連．呼吸理学療法学，2024，3（1）．
4. 大野七海，森拓海，十念大貴，中治衣理，江越正次朗，村田伸，安彦鉄平．たちばなタオル体操といきいき百歳体操の運動強度および気分尺度の比較．ヘルスプロモーション理学療法研究，2022，12（3）．
5. Egoshi S, Horie J, Nakagawa A, Matsunaga Y, Hayashi S. Relationships of walking and non-walking physical activities in daily life with cognitive function and physical characteristics in male patients with mild chronic obstructive pulmonary disease. Clin Med Insights Circ Respir Pulm Med, 2022, 16.
6. 江越正次朗，竹原雷蔵，野島日菜，三浦輝之，堀江淳：健常若年成人におけるスパイロメーターを用いて測定した Cough peak flow の検証－ピークフローメーターでの Cough peak flow 測定値との一致性と，咳嗽評価の適否における検証研究－．ヘルスプロモーション理学療法研究, 2022, 12 (1).
7. 江越正次朗，松本雄次，井上健，原田悠紀見，三根大悟：在宅で療養する心疾患患者の JST 版活動能力指標と身体特性との関係．理学療法科学，2022，37（2）．
8. Egoshi S, Horie J, Nakagawa A, Matsunaga Y, Hayashi S. Walking distance in incremental shuttle walking test as a predictor of physical activity in patients diagnosed with low-risk chronic obstructive pulmonary disease. SAGE Open Medicine, 2021, 9.
9. Egoshi S, Hayashi S, Horie J, Shiranita S, Watanabe H, Kawaura F, Takahashi K, Asami T, Sueoka-Aragane N. Effect of health locus of control on physical activity in stable patients with chronic obstructive pulmonary diseases. J Phys Ther Sci, 2021, 33(6).
10. 江越正次朗，國分裕一，栗木明裕，江郷功起，古賀寿記：高校競泳選手の泳法の違いによる呼吸機能，胸郭拡張差の差異の検証．理学療法科学，2021，36（3）．
11. 江越正次朗，國分裕一，栗木明裕，江郷功起，古賀寿記：高校男子競泳選手の競泳パフォーマンスに関

連する呼吸機能，胸部形態の検討．ヘルスプロモーション理学療法研究，2021，11（1）．

12. 江越正次朗，堀江淳，中川明仁，松永由理子，林真一郎：GroupA に属する慢性閉塞性肺疾患患者の 1 年後の骨格筋機能変化．理学療法科学，2021，36（2）．
13. 政所 和也，北島 保子，熊谷 隆史，山炭 春香，木下 佳祐，江越正次朗，國分 裕一，堀 恭介，内山 美枝子，竹井 和人，高森真須美，倉富 眞：鳥栖市における住民主体の「通いの場」への取り組み -「とすっこ体操」の開発および運動効果-．理学療法さが，2021，7（1）．
14. 江越正次朗，國分裕一，吉塚久記，光武翼，大古場良太：若年者の健康コントロール所在と身体機能，身体活動量との関係．理学療法さが，2020，6（1）．
15. 中川 明仁，堀江 淳，江越 正次朗，松永 由理子，金子 秀雄，高橋 浩一郎，林 真一郎：病期別に見た慢性閉塞性肺疾患患者のパーソナリティの比較検討．ヘルスプロモーション理学療法研究，2020，8（1）．
16. 江越正次朗，堀江 淳，阿波 邦彦，今泉 裕次郎，市丸 勝昭，直塚 博行，白仁田 秀一，林 真一郎：男性慢性閉塞性肺疾患患者のライフスタイル・社会背景は健康関連 QOL と関連しうるか？．ヘルスプロモーション理学療法研究，2018，8（2）．
17. 國分裕一，栗木明裕，江郷功起，古賀寿記，江越正次朗：高校競泳選手に対するメディカルチェックの取り組み～第一報～．九州・山口スポーツ医・科学研究会誌，2018，30.
18. 大古場 良太，長谷川 正哉，吉塚 久記， 本多 裕一，江越 正次朗，光武 翼，浅見 豊子：知覚入力型インソールの使用が歩行時の足部動態に及ぼす影響．理学療法科学，2018，33（2）．
19. 吉塚 久記，玉利 誠，本多 裕一，光武 翼，江越 正次朗，大古場 良太：動作分析の学生指導に関する臨床実習教育者の認識．理学療法科学，2017，32（4）．
20. 光武 翼，植田 耕造，吉塚 久記，江越正次朗，大古場 良太，堀川 悦夫：重度脳卒中片麻痺患者に対する後方からの歩行介助時の身体動揺に関する研究．理学療法さが，2017，3（1）．
21. 江越正次朗，堀江淳，阿波邦彦，今泉裕次郎，市丸勝昭，直塚博行，白仁田秀一，上田真智子，田中將英，林真一郎：慢性閉塞性肺疾患患者の 6 分間歩行距離の違いにおける身体特性の比較．ヘルスプロモーション理学療法研究，2012，2（3）．

その他（学会発表等・主なもののみ記載）

学会発表 41 編

競争的研究資金獲得状況

1. 科学研究費補助金（基盤研究 C）「慢性閉塞性肺疾患患者の自己管理能力における精神・心理的特性の実践的分析」 研究代表者
2. 科学研究費補助金（基盤研究 C）「COPD 患者の身体活動性向上へむけた集団参加型遠隔医療プログラムの構築」 研究分担者

著書

1. PT・OT 入門イラストでわかる内部障害，医歯薬出版株式会社
2. Crosslink basic リハビリテーションテキスト 心理学・臨床心理学，メジカルビュー社